



CANOX

第95期 株主通信

2022年4月1日 ▶ 2023年3月31日

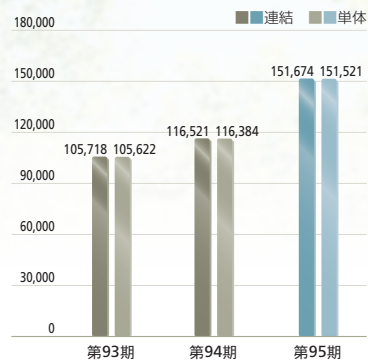
株式会社 カノクス

証券コード：8076

決算ハイライト

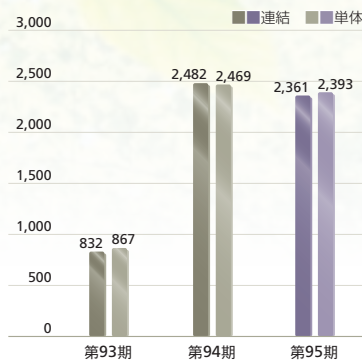
売上高

(単位：百万円)



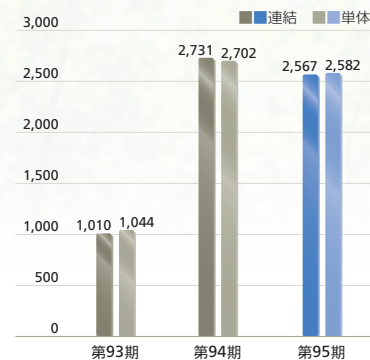
営業利益

(単位：百万円)



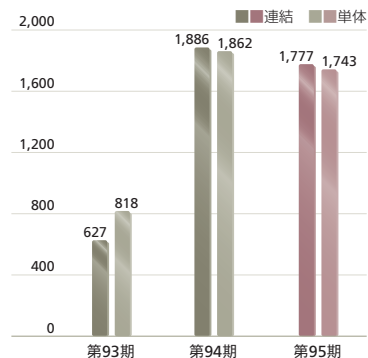
経常利益

(単位：百万円)



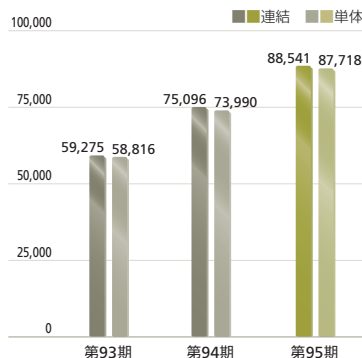
親会社株主に帰属する当期純利益 (連結) 当期純利益 (単体)

(単位：百万円)



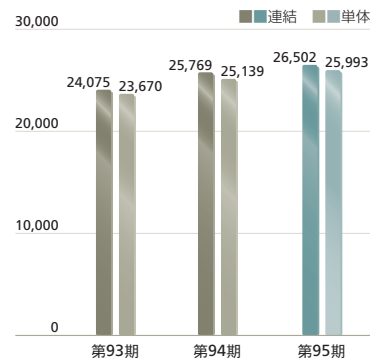
総資産

(単位：百万円)



純資産

(単位：百万円)



Contents

▶ 決算ハイライト	01	▶ 個別財務諸表	07
▶ 株主の皆様へ	02	▶ カノークスグループ	08
▶ 主な取扱品目	03	▶ 会社概要	09
▶ 連結財務諸表	05	▶ 株式の状況	10



株主の皆様には、格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。
当社は第95期（2022年4月1日から2023年3月31日まで）
が終了しましたので、一言ご挨拶申し上げます。

2023年6月

代表取締役社長 高木 清秀

第96期（2023年度）見通しについて

当社は昨年11月21日に東京証券取引所スタンダード市場への上場を果たしました。長年当社を支援頂いている全ての株主の皆様へ改めて厚く御礼申し上げます。日本の証券取引の99%が行われる東証に身を置くことで、これまで以上に投資家の皆様のご期待に叶う企業運営に取り組んでまいります。

3年間の新型コロナによる経済の停滞から日本経済は立ち直ろうとしています。世界規模のサプライチェーンの寸断により、様々な部品調達難で減産を余儀なくされていた産業活動は正常化に向けて既に動き出しています。第9次中計で新設設備した加工工場の継続的な機能強化を行い、コロナ禍から抜け出そうとする経済の急回復に「信頼のサプライチェーン」で貢献してまいります。

一方で終結が見通せないウクライナ戦争や、インフレの加速、出口を巡る日銀の金融政策など依然として経済状況は危うさを抱えており、冷静な判断と迅速な経営判断を実行してまいります。

今期の当社グループの業績予想は、売上高1,796億円、営業利益24億円、経常利益27億円、親会社株主に帰属する当期純利益18.6億円としております。配当金につきましては、配当性向50%をベンチマークとし、現時点では年間配当金1株あたり96円を予定しています。

将来に向けた活動について

3年間にわたる新型コロナによる厳しい行動制限や企業活動の制約から抜け出し、日本は新しい一歩を踏み出しています。コロナ禍の間、デジタル技術を活用した新たな働き方が定着すると同時に、対面ならではの濃いコミュニケーションの重要性も認識しました。当社の思い「PURPOSE」は、コロナ前に「戻ろう」とするのではなく、コロナの先へと時間を進め、変化する社会の価値観に応え、より良き社会の実現を目指すものです。コロナ禍で獲得した柔軟な働き方を更に進化させ、デジタルとアナログを融合させたハイブリッド型を当社の強みとし、生産活動を急速に正常化する顧客に対して「血の通うパートナー」として、当社の立ち位置を確固たるものとしてまいります。

自動車の完全電動化にも様々な角度から当社の貢献領域を広げています。マルチマテリアルへの取り組みは、鋼材の新たな特性を技術サービス面から提案する活動も精力的に展開しています。

東証上場を機に、ウェブセミナー、対面式投資家セミナー、ホームページの充実などこれまで以上にIR活動を展開してまいります。

株主の皆様におかれましては、今後とも一層のご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

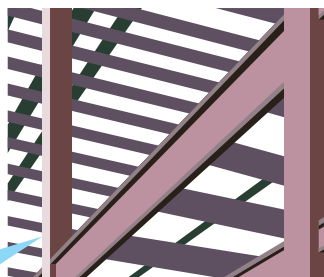
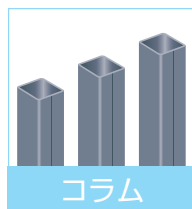
▶ 主な取扱品目

品 種 別 売 上

鋼 管 254億80百万円 16.8 %

一般的には、建築資材や機械部品に用いられるものや、ガスや水を通すパイプなど多種多様な用途に用いられるものがあります。

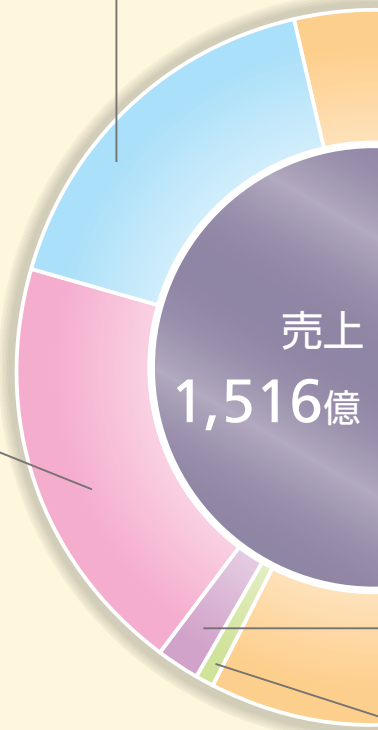
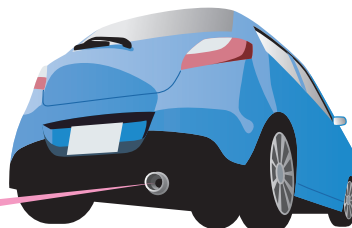
当社でも、様々な製品の材料として切断等の加工を施し販売しており、主なものには、自動車の座席シートまわりの部品や、建物の骨格として使用される角型鋼管(コラム)等の材料があります。



ステンレス等 293億92百万円 19.4 %

ステンレス鋼は錆を防ぐためのめっきや塗装をしなくても済み、耐食性に優れています。屋外や湿気のある場所での使用、例えば構造物や鉄道車両の外観、自動車部品などの様々な分野に用いられております。

当社では主に自動車の排気系部品に使われる材料などを扱っており、主力商品のひとつとなっております。



高構成比

高
74百万円

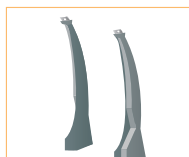
鋼板	931億30百万円	61.4%
----	-----------	-------

自動車・船舶・鉄道車両・建築物・海洋構造物の部材など非常に幅広い分野で使用されている材料です。

当社では主に自動車部品や鉄製シャッターなどに使用される薄板を中心に、鉄鋼メーカーより購入した材料をお客さまからご要望頂いた寸法に加工を施し販売しております。



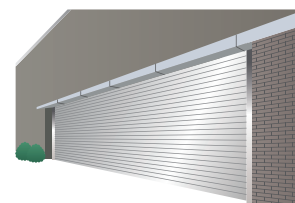
フロントピラー



センターピラー



ドアビーム



シャッター

条鋼	30億22百万円	2.0%
----	----------	------

建築用の構造材などに使用される型鋼や、コンクリートの補強用などに使用される棒鋼、土砂崩れを抑えるために使用される鋼矢板など、主に土木・建築用途に使用されている材料です。

その他	6億48百万円	0.4%
-----	---------	------

▶ 連結財務諸表

連結貸借対照表

単位：百万円

科目	当期 2023年3月31日	前期 2022年3月31日
1 資産の部		
流動資産	75,533	61,650
固定資産	12,979	13,413
有形固定資産	6,397	6,628
無形固定資産	27	40
投資その他の資産	6,554	6,744
繰延資産	28	32
資産合計	88,541	75,096
2 負債の部		
流動負債	51,816	43,187
固定負債	10,222	6,139
負債合計	62,038	49,327
3 純資産の部		
株主資本	22,273	21,327
資本金	2,310	2,310
資本剰余金	1,802	1,802
利益剰余金	19,217	18,270
自己株式	△1,056	△1,056
その他の包括利益累計額	4,229	4,442
その他有価証券評価差額金	3,069	3,126
土地再評価差額金	977	977
退職給付に係る調整累計額	182	338
純資産合計	26,502	25,769
負債及び純資産合計	88,541	75,096

〇 前期比較

① 資産の部

当期末における流動資産は755億33百万円となり、前期末に比べ138億83百万円増加しました。これは主に売上債権（受取手形及び売掛金、電子記録債権）の増加98億22百万円、商品の増加46億38百万円であります。固定資産は129億79百万円となり、前期末に比べ4億34百万円減少しました。これは主に減価償却費の計上3億23百万円によるものであります。

この結果、総資産は885億41百万円となり、前期末に比べ134億44百万円増加しました。

② 負債の部

当期末における流動負債は518億16百万円となり、前期末に比べ86億28百万円増加しました。これは主に仕入債務（支払手形及び買掛金、電子記録債務）の増加56億52百万円、短期借入金の増加51億円、1年以内償還予定の社債の減少15億円によるものであります。また、固定負債は102億22百万円となり、前期末に比べ40億82百万円増加しました。これは主に長期借入金の増加41億74百万円によるものであります。

この結果、負債は620億38百万円となり、前期末に比べ127億11百万円増加しました。

③ 純資産の部

当期末における純資産は265億2百万円となり、前期末に比べ7億33百万円増加しました。これは主に親会社株主に帰属する当期純利益の計上17億77百万円、配当金の支払8億31百万円によるものであります。

連結損益計算書

単位：百万円

科目	当期	前期
	自 2022年4月1日 至 2023年3月31日	自 2021年4月1日 至 2022年3月31日
4 売上高	151,674	116,521
売上原価	144,145	109,226
売上総利益	7,528	7,294
販売費及び一般管理費	5,167	4,811
4 営業利益	2,361	2,482
営業外収益	444	403
営業外費用	238	154
4 経常利益	2,567	2,731
特別損失	—	—
税金等調整前当期純利益	2,567	2,731
法人税、住民税及び事業税	763	890
法人税等調整額	26	△45
当期純利益	1,777	1,886
4 親会社株主に帰属する当期純利益	1,777	1,886

連結キャッシュ・フロー計算書

単位：百万円

科目	当期	前期
	自 2022年4月1日 至 2023年3月31日	自 2021年4月1日 至 2022年3月31日
5 営業活動による キャッシュ・フロー	△6,478	△11,378
6 投資活動による キャッシュ・フロー	△92	△169
7 財務活動による キャッシュ・フロー	6,637	7,494
現金及び現金同等物の 増減額	66	△4,053
現金及び現金同等物の 期首残高	2,886	6,939
現金及び現金同等物の 期末残高	2,953	2,886

前期比較

- ④ 売上高・営業利益・経常利益・親会社株主に帰属する当期純利益
売上高は鋼材価格の上昇等が寄与したことにより1,516億74百万円（前年同期比30.2%増）となりました。一方で、利益面におきましては運賃諸掛をはじめとした販売費及び一般管理費の増加に伴い、営業利益は23億61百万円（同4.9%減）、経常利益は25億67百万円（同6.0%減）、親会社株主に帰属する当期純利益は17億77百万円（同5.8%減）となりました。
- ⑤ 営業活動によるキャッシュ・フロー
営業活動によるキャッシュ・フローは、税金等調整前当期純利益25億67百万円の計上や、仕入債務の増加56億52百万円等による資金増加要因よりも、売上債権の増加98億22百万円、棚卸資産の増加47億24百万円等による資金減少要因が上回ったため、64億78百万円の資金減少（前期は113億78百万円の資金減少）となりました。

- ⑥ 投資活動によるキャッシュ・フロー
投資活動によるキャッシュ・フローは、主に有形固定資産の取得による支出85百万円等により、92百万円の資金減少（前期は1億69百万円の資金減少）となりました。
- ⑦ 財務活動によるキャッシュ・フロー
財務活動によるキャッシュ・フローは、主に短期借入金の借入による収入51億円、長期借入金の借入による収入57億22百万円、長期借入金の返済による支出18億24百万円、社債の償還による支出15億円、配当金の支払による支出8億29百万円等により、66億37百万円の資金増加（前期は74億94百万円の資金増加）となりました。

貸借対照表

単位：百万円

科目	当期	前期
	2023年3月31日	2022年3月31日
資産の部		
流動資産	74,975	61,022
固定資産	12,714	12,935
有形固定資産	6,013	6,177
無形固定資産	27	39
投資その他の資産	6,673	6,718
繰延資産	28	32
資産合計	87,718	73,990
負債の部		
流動負債	51,631	42,931
固定負債	10,094	5,919
負債合計	61,725	48,851
純資産の部		
株主資本	21,947	21,034
資本金	2,310	2,310
資本剰余金	1,802	1,802
利益剰余金	18,891	17,978
自己株式	△1,056	△1,056
評価・換算差額等	4,045	4,104
その他有価証券評価差額金	3,068	3,126
土地再評価差額金	977	977
純資産合計	25,993	25,139
負債及び純資産合計	87,718	73,990

損益計算書

単位：百万円

科目	当期	前期
	自 2022年4月1日 至 2023年3月31日	自 2021年4月1日 至 2022年3月31日
売上高	151,521	116,384
売上原価	143,890	108,996
売上総利益	7,631	7,387
販売費及び一般管理費	5,238	4,917
営業利益	2,393	2,469
営業外収益	515	474
営業外費用	326	241
経常利益	2,582	2,702
特別利益	—	—
特別損失	54	—
税引前当期純利益	2,527	2,702
法人税、住民税及び事業税	757	884
法人税等調整額	26	△45
当期純利益	1,743	1,862

▶ カノークスグループ

CANOX

★：事業所

●：工場

◆：倉庫

■：グループ

※協力加工工場

(株)スズヤス

五十鈴(株)

(株)メタルワン・スチールサービス

札幌営業所
札幌市中央区

東北支店
北上市

(株)カノークス鋼管北上
北上市



(株)カノークス鋼管関東
太田市



北関東営業所
太田市

市川センター
市川市

東京支社
東京都中央区



(株)カノークス建材・
豊田センター
豊田市

静岡営業所
静岡市葵区



本社／名古屋本店
名古屋市西区

(株)カノークス鋼管東海
愛知郡東郷町



(株)空見スチールサービス
名古屋市港区

(株)カノークス建材・
空見センター
名古屋市港区

金沢営業所
金沢市

九州支店
福岡市博多区

関西支店
大阪市中央区

板付倉庫
福岡県糟屋郡

(株)カノークス鋼管九州
中津市



四国センター
西条市

四国営業所
西条市

中国営業所
広島市南区

会社の概況 (2023年3月31日現在)

商号	株式会社カノクス 英訳名：CANOX CORPORATION	従業員数	184名
創業年月日	1897年12月1日	会計監査人	有限責任監査法人トーマツ
設立年月日	1948年1月29日	主要な事業内容	鉄鋼、鉄鋼関連商品の販売及び加工
資本金	23億1千万円		

役員 (2023年6月23日現在)

代表取締役社長	高木 清 秀	取締役	宮 島 元 子	常務執行役員※	小 西 伸 雄
取締役	小 西 伸 雄	取締役	宮 内 豊	常務執行役員※	藤 本 善 久
取締役	藤 本 善 久	常勤監査役	亀 田 善 也	執行役員※	小 河 正 直
取締役	小 河 正 直	監査役	荒 井 太 郎	執行役員※	田 中 之 介
取締役	田 中 之 介	監査役	毛 利 泰 康		

(注) ※を付した執行役員は取締役を兼任しております。

ホームページアドレス <https://www.canox.co.jp/>

名証IRセミナー in名古屋 出展のご案内

第一部 13:00～13:40
株式会社カノクス (8076)

お申込み方法

名証ホームページまたは右QRコードから事前にお申込みができます。「お申込みはこちら」より、必要情報をご入力ください。



名証イベント

検索



名証に上場する企業3社による企業説明会と人気講師による株式講演会



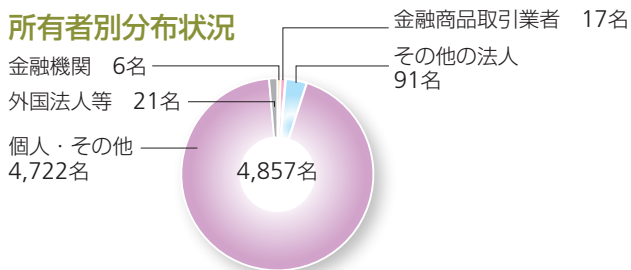
開催日時：2023年7月20日(木) 13:00～16:20 (12:30開場)
会場：ナディアパーク3F デザインホール 名古屋市中区栄3-18-1

株式の概況

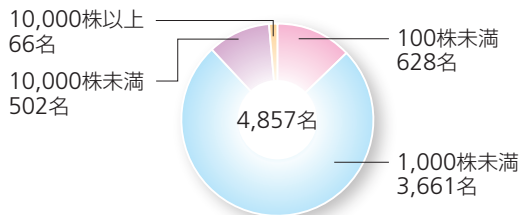
(2023年3月31日現在)

発行可能株式総数 19,443,000株
 発行済株式の総数 9,778,822株(自己株式1,324,678株を除く)
 株主数 4,857名

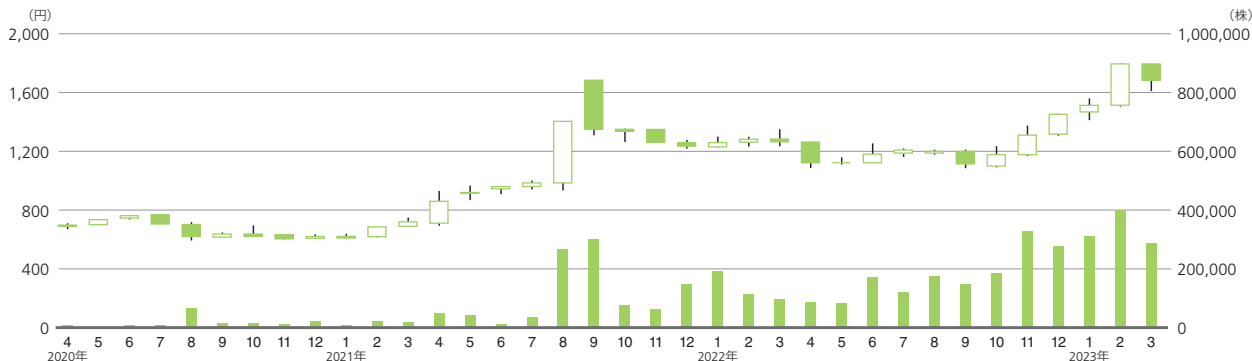
所有者別分布状況



所有数別分布状況



株価および出来高の推移



大株主の状況

(2023年3月31日現在)

氏名又は名称	持株数(株)	持株比率(%)
株式会社メタルワン	4,380,000	44.79
株式会社三菱UFJ銀行	455,724	4.66
株式会社愛知銀行	343,500	3.51
株式会社岡島パイプ製作所	331,500	3.39
加納光太郎	218,735	2.24
モリ工業株式会社	200,000	2.05
双日マシナリー株式会社	180,000	1.84
吉田知広	171,900	1.76
株式会社田窪工業所	140,000	1.43
株式会社中山製鋼所	131,250	1.34

(注) 1. 当社は、自己株式1,324,678株を保有しておりますが、上記大株主からは除いております。
 2. 持株比率は、自己株式を控除して計算しております。

株式についてのご案内

■ 事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
■ 株主総会	定 時 毎年6月 臨 時 必要あるときに公告して開催する。
■ 配当金受領株主確定日	3月31日、9月30日
■ 公告方法	電子公告 (https://www.canox.co.jp/) ただし電子公告によることができない事故その他やむを得ない事由が生じたときは、日本経済新聞に掲載して行う。
■ 株主名簿管理人	
特別口座の口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
同 連 絡 先	東京都府中市日鋼町1-1 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 電話 (通話料無料) 0120-232-711
同 郵 送 先	〒137-8081 新東京郵便局私書箱第29号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部

(ご注意)

- 株主様の住所変更、買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、株主様個人の口座を開設されている口座管理機関（証券会社等）でお取り扱いすることとなっておりますので、その口座管理機関にお問い合わせください。株主名簿管理人（三菱UFJ信託銀行）ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
- 特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関（三菱UFJ信託銀行）にお問い合わせください。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店においてもお取り扱いいたします。
- 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。

(ご案内)

少額投資非課税口座（NISA 口座）における配当等のお受け取りについて

新規に購入された当社株式をNISA 口座でご所有される場合、配当等につき非課税の適用を受けるためには、口座管理機関（証券会社等）を通じて配当等を受け取る方式である「株式数比例配分方式」をお選びいただく必要がございます。ご所有の株式のうち、特別口座に記録された株式をお持ちの株主様は「株式数比例配分方式」をお選びいただくことができませんのでご注意ください。

NISA 口座に関する詳細につきましては、お取引の証券会社等にお問い合わせください。

株式会社 カノクス

本 社	名古屋市西区那古野1-1-12	電話 052-564-3511	札幌 営業所	札幌市中央区大通西6-2-6	電話 011-231-4651
名古屋本店	名古屋市西区那古野1-1-12	電話 052-564-3611	北関東営業所	太田市飯田町1303	電話 0276-48-5351
東京支社	東京都中央区日本橋本町3-6-2	電話 03-5651-5301	金沢 営業所	金沢市北安江1-3-24	電話 076-263-5461
関西支店	大阪市中央区本町2-1-6	電話 06-6266-1300	静岡 営業所	静岡市葵区栄町3-1	電話 054-251-2171
九州支店	福岡市博多区博多駅前1-4-1	電話 092-289-8631	中国 営業所	広島市南区稲荷町3-20	電話 082-262-1133
東北支店	北上市相去町大松沢1-96	電話 0197-67-6429	四国 営業所	西条市今在家820-1	電話 0898-64-6095

